

傳樂司合原氏 六

特 別
^13
4274
6



113
4274
6

此世
種彦作
因貞画

六編上



91-2337



田舎源氏六編上

傍紫

柳亭種彦作
歌川國貞画

通油町鶴屋板



朱雀の細道ひらけざる往古の花街の六條ふわやと見え其六條か
 案の御息所と朝顔の秋奉り中將と何が寺の行人と三役兼
 三筋町のひら伊勢の御息所と見せざるよりと二見屋の阿古木と
 号を遊女よはう仕掛文庫の九折鞍馬の嵐の別荘とらけさるれ
 趣向さうのづれの巻をひいても花や紅葉の總模様入のさうと
 しと安かかりと画るがこれかこれか疑ひのやの字結ひの帯のさうと
 箱せいの角さうと和らうと御簾紙よとて掛の胴も様子揚屋乃
 別坂伊勢の縁ある川崎音頭を彼催馬樂の葛城かて書き
 拍るさうと扇の音さう最さうさ草冊子のゆきよこそ

天保三年壬辰春

柳亭種彦



原式六編

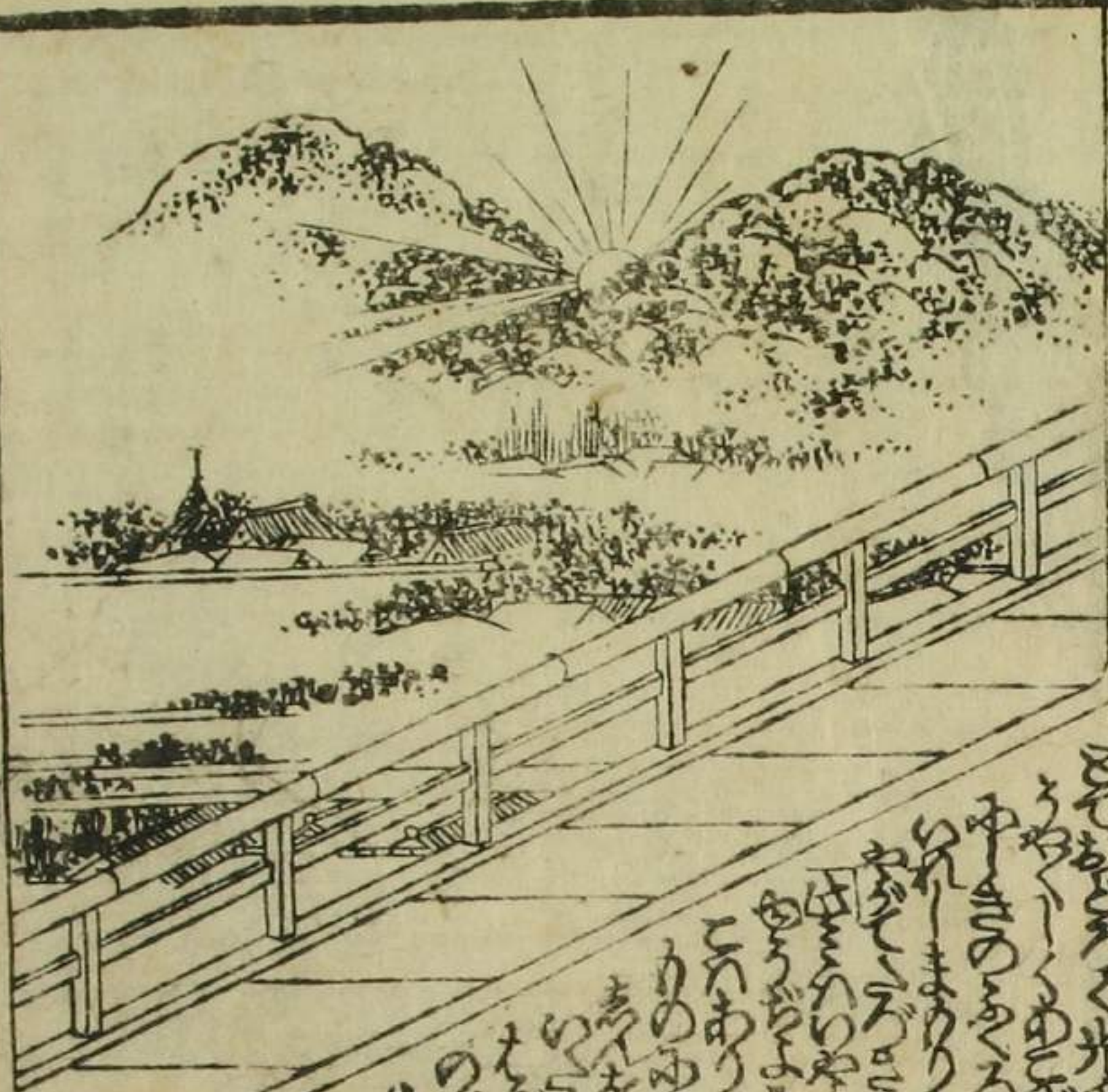


おのづかきよきの
 朧月の夜忍びて楢舟の琴を聞

光氏十八歳

まろくし
 いろくし
 まろくし
 まろくし
 まろくし
 まろくし

義勝の
 女
 楢舟
 未摘花
 比



野中の里とて...
わりの池小町寺とて...
の山を...
の山を...



あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...

あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...



あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...



あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...
あつた山を...

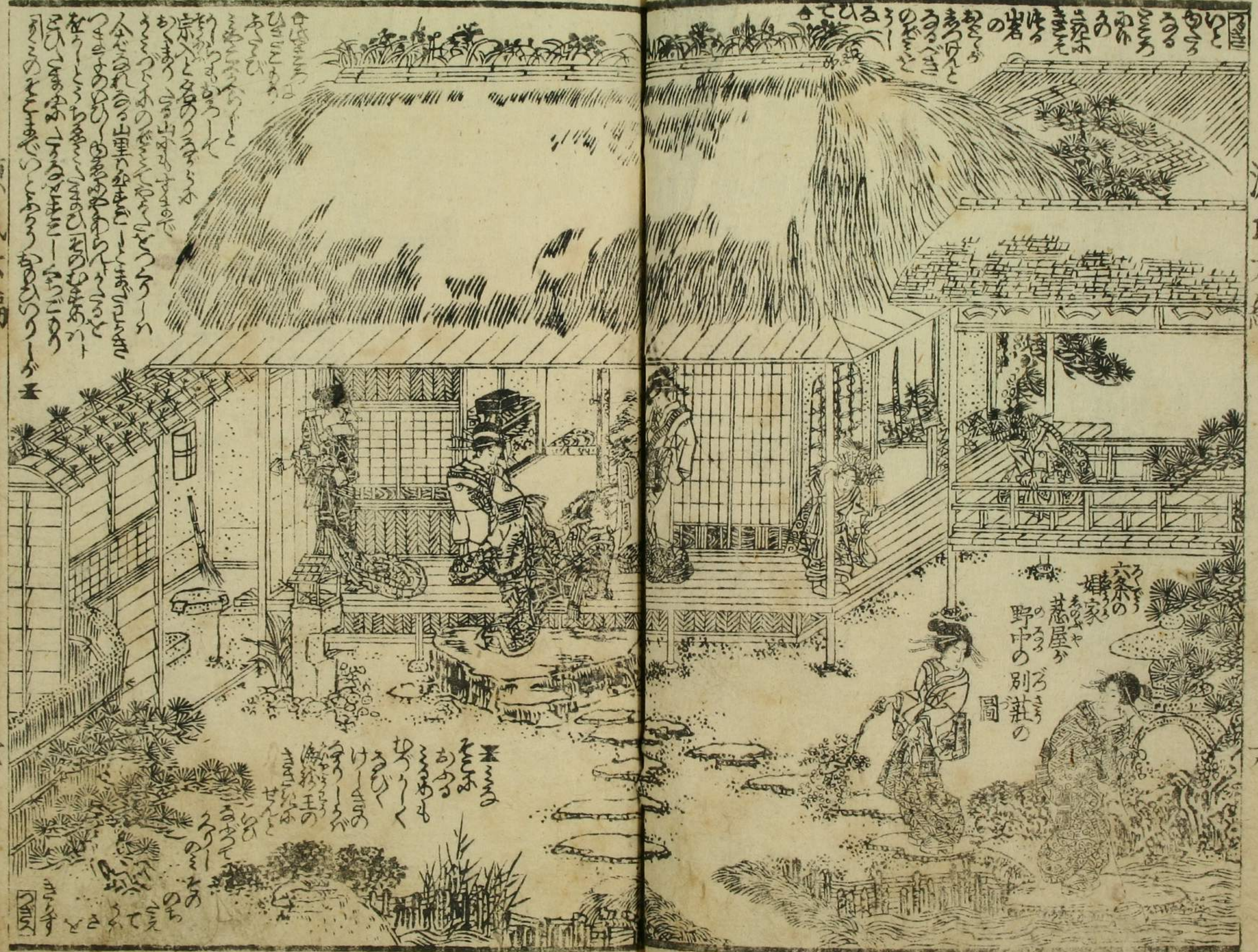


源氏物語の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧



源氏物語の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧

源氏物語の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧
御覧の御覧



右の山に...
左の山に...
中央の山に...
山の間に...
山の麓に...
山の頂に...
山の裾に...
山の背に...
山の腹に...
山の腰に...
山の首に...
山の脚に...
山の手に...
山の目に...
山の口に...
山の鼻に...
山の耳に...
山の髪に...
山の爪に...
山の皮に...
山の骨に...
山の肉に...
山の血に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...

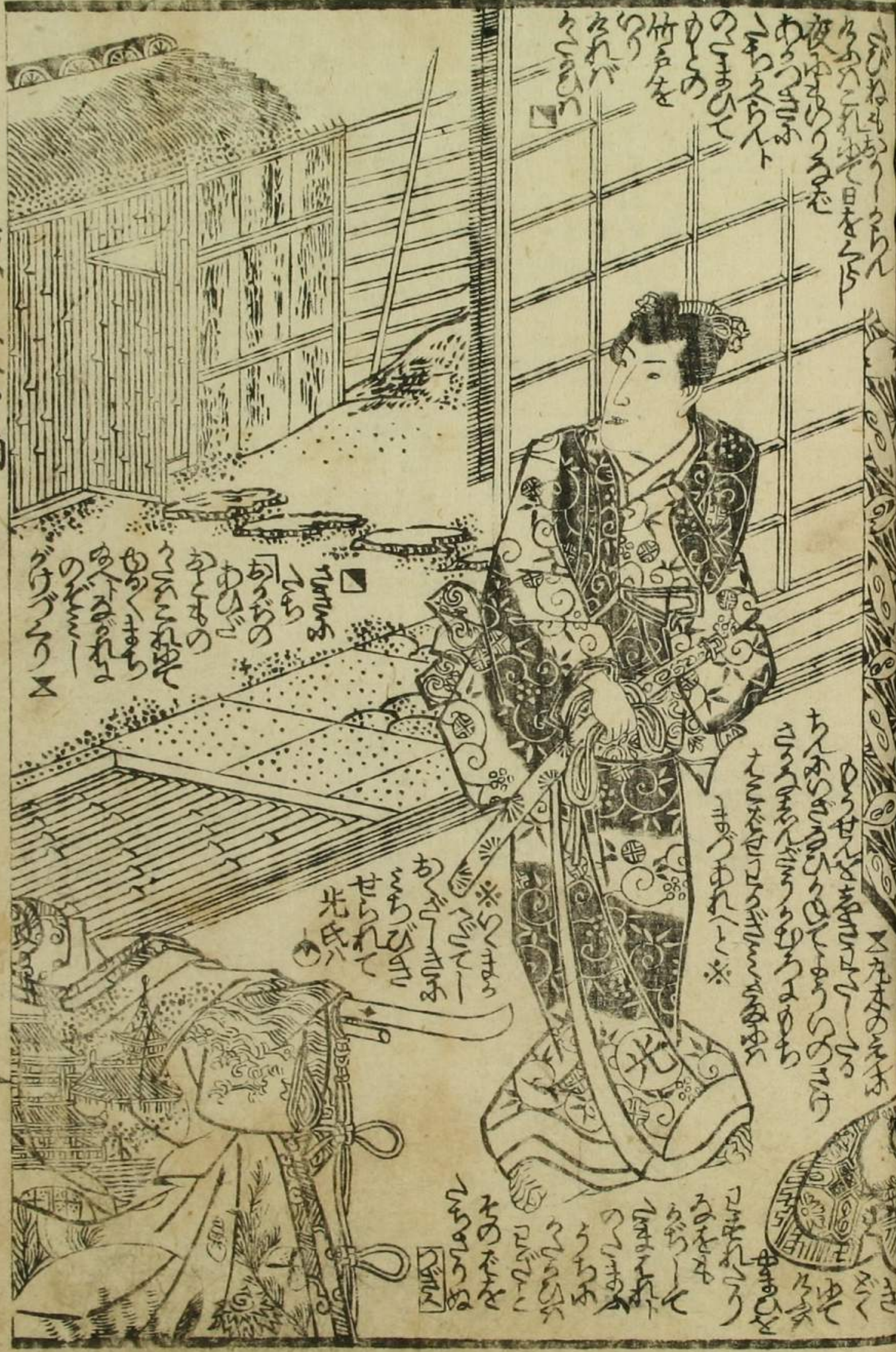
右の山に...
左の山に...
中央の山に...
山の間に...
山の麓に...
山の頂に...
山の裾に...
山の背に...
山の腹に...
山の腰に...
山の首に...
山の脚に...
山の手に...
山の目に...
山の口に...
山の鼻に...
山の耳に...
山の髪に...
山の爪に...
山の皮に...
山の骨に...
山の肉に...
山の血に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...

野中の別荘の
庭園の
景観
図

右の山に...
左の山に...
中央の山に...
山の間に...
山の麓に...
山の頂に...
山の裾に...
山の背に...
山の腹に...
山の腰に...
山の首に...
山の脚に...
山の手に...
山の目に...
山の口に...
山の鼻に...
山の耳に...
山の髪に...
山の爪に...
山の皮に...
山の骨に...
山の肉に...
山の血に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...
山の汗に...
山の涙に...

源田六編

五



このやうなうらな
あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま



このやうなうらな
あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

あつたにこれぞ目まぐる
夜中ものさそ
わのCastle
ハコヤリ
ウマシ
ゆを
竹戸を
つれ
くま

源氏六

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or transcription of the scene depicted in the illustration. The text is written in a cursive style and covers the upper portion of both pages.



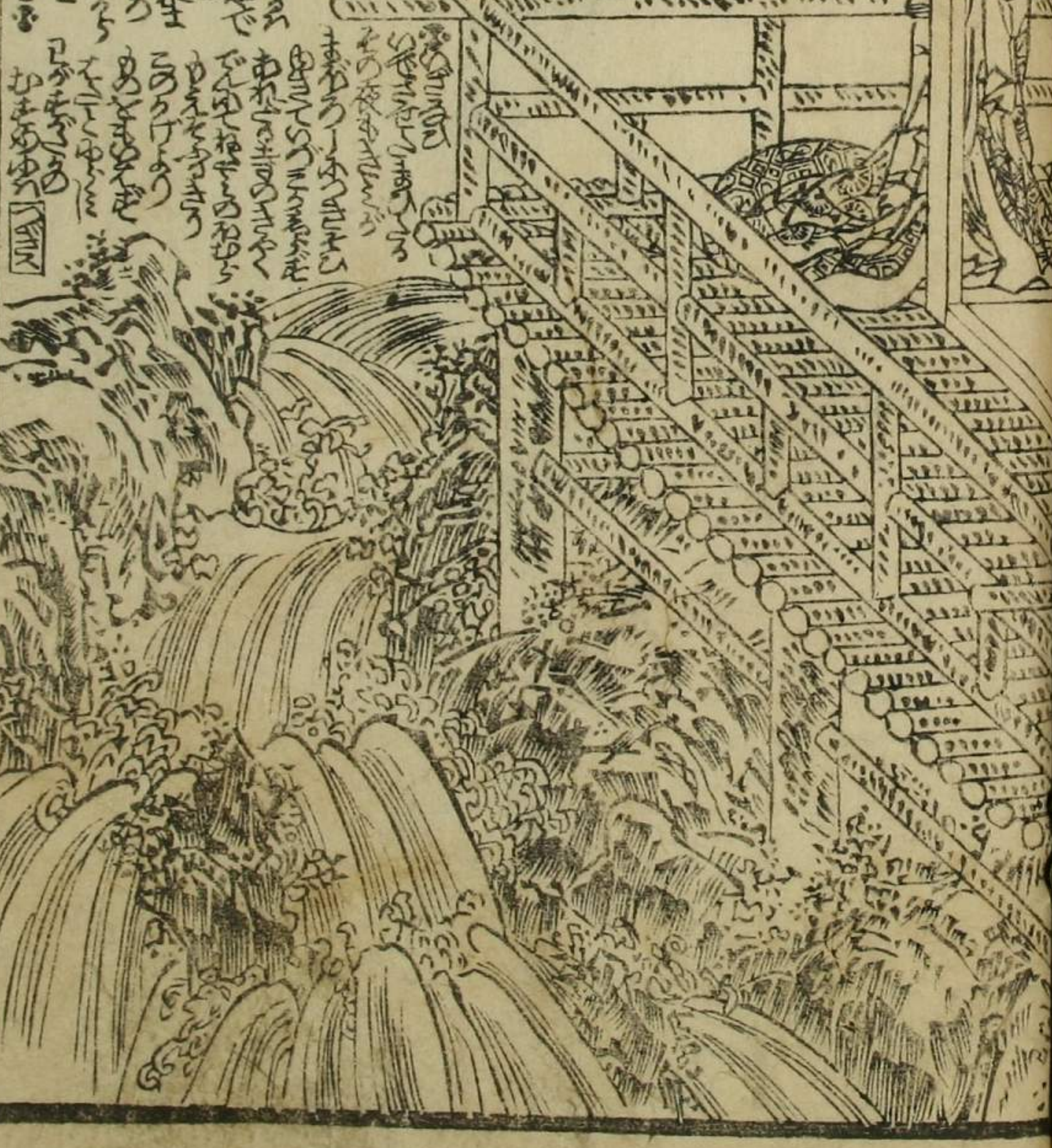
Handwritten text in vertical columns, continuing the commentary or transcription from the upper section. This text is located in the lower portion of both pages, below the main illustration.

Handwritten text in the upper right corner, likely a chapter or section header.

Handwritten text in the upper middle section, positioned above the main illustration.



Handwritten text in the upper left section, positioned above the main illustration.



源氏六編の初編は、源氏物語の六段目である。この巻には、光源氏の生涯の終焉が描かれている。...



種彦作 國貞画

考訂大和詞初編

再板 出来 弄花翁集編 柳亭種彦校

考訂大和詞二編

近刻 撰者右、同

初編の原本の初と二編の初とを比較して、その異同を考訂する。...

江の島鎌倉大山往來雙六 前北齊爲一画 柳亭種彦撰

為一画の地は、往來の道に、雙六の盤を写し、おそれ、柳亭子國圖を記法とて、考訂の備材名、ゆゑ、里數、まゝに、記され、いづか、まゝの、ゆゑ、あそびの、まゝ、あつた、これと、ひらき、て、いづか、その、地、は、あつた、ゆゑ、ち、と、奥、あ、は、ま、き、双六、る、)

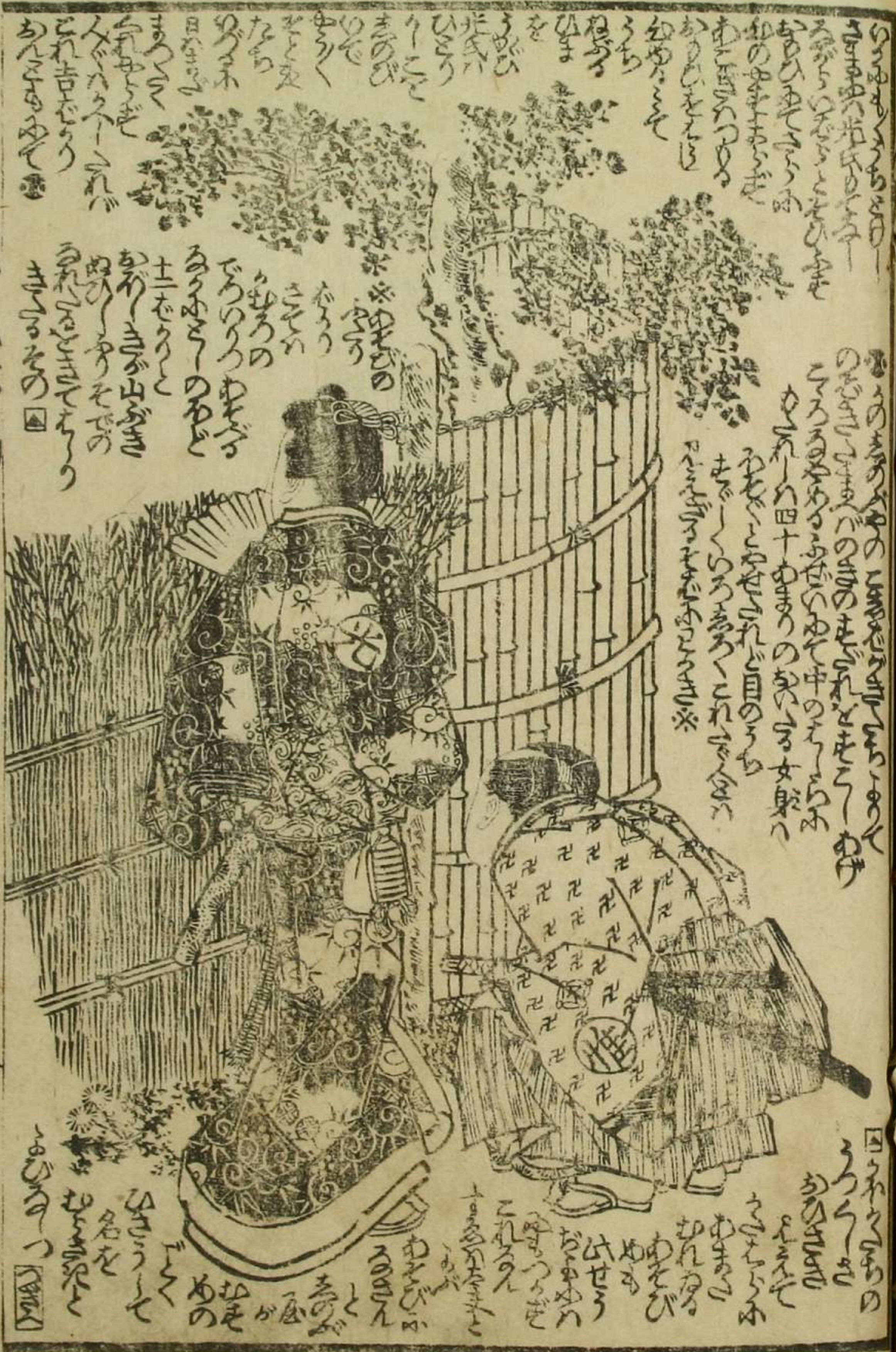
江戸通油町地本書林

仙鶴堂 小林喜右衛門印行



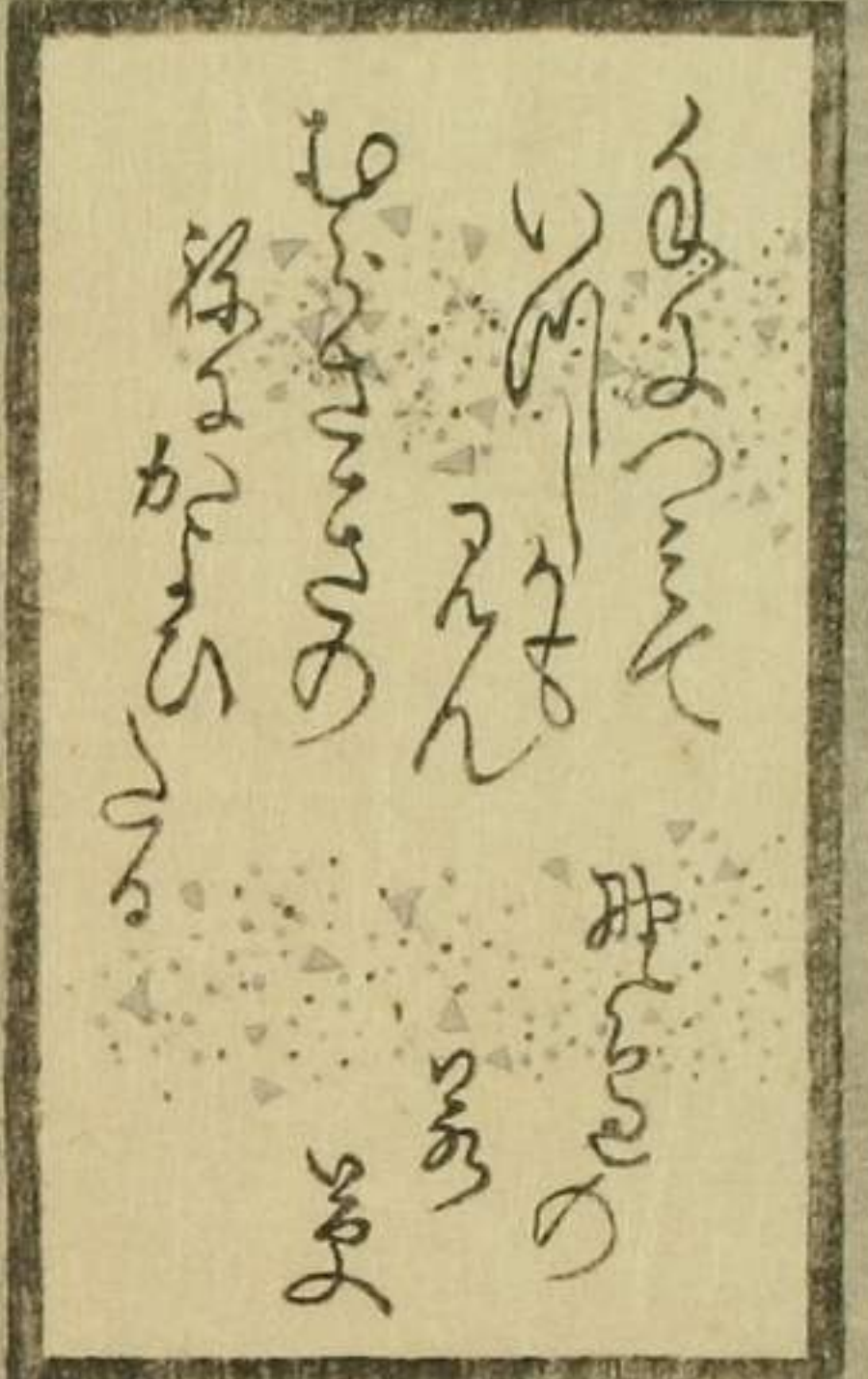
六編下





國貞画

種彦作



田舎源氏 六編下

江戸通油町 仙鶴堂壽粹

男子の... 源氏物語の一場面を記述する...



女子の... 源氏物語の一場面を記述する...

源氏物語の一場面を記述する...



源氏物語の一場面を記述する...

わさく山名宗せん
あさかたのきんま助
ちつれちつれ

わのあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと



あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと



あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつと
あつとあつと
あつとあつと



Handwritten text in a cursive script, likely a play script or commentary, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located on the right side of the right page, adjacent to the lamp illustration.



Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the kneeling woman illustration.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page, above the standing women illustration.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the standing women illustration.

これにわが光氏りんとむとのをいひまらせて
これきよきをまゐらふがづかすのいひめと
とされば夜ゆけてあつらふらんこゝろ
やいさのいひなり

種彦作 國貞画

これにわが光氏りんとむとのをいひまらせて
これきよきをまゐらふがづかすのいひめと
とされば夜ゆけてあつらふらんこゝろ
やいさのいひなり
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと
このころのいひめと



天保辰春新版書林本地問屋仙雀堂

傾城水滸傳第二編全冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

年代記童講譯全冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

花街雀竹夜遊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

霞帯如月
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

年中行事御祝儀百童講譯全冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

國字水滸傳第一編全冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

浮世世説全四冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

義仲朝日鏡六冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

修紫田舎源氏七六篇
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

三國志書畫傳第一編全冊
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

仙女香果乳美香香果乳茶敷
柳亭種彦校訂 仙果作
歌川國貞画

團扇地紙 問屋鶴屋喜齋門
江戶通油町



